

平成29年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成29年11月11日（土） 午後1時30分 ～ 午後3時40分	
開催場所	東部交流会館 多目的ホール	
担当議員	班代表者	炭本 範子
	司会者	長岡 一夫
	報告者	谷川 光男
	記録者	宮嶋 良造
	班員 (上記以外)	尾崎 輝雄・伊藤 紀味枝・柴田 はすみ
参加人数	36人	
主な質疑・意見等	<p>Q： 財政力指数などは、悪くなっていないのに議会だよりで「財政悪化」の言葉が使われている。何の指標をもって使われたのか。 また、木津川市は、府内で人口割合に対して職員数の少ない自治体になっており、これでは市民のための仕事が十分にできない。</p> <p>A： これまでは予算に財政調整基金を入れても全額戻してきたが、昨年度は3億6千万円を戻せなかった。 職員数については、人件費の面から全国的に見ればまだ多いのではないかと考える。</p> <p>Q： 市長に財政健全化の目標や取り組みを定めるよう義務付けた「財政責任条例」を制定する考えはないか。</p> <p>A： 発言の趣旨は、議会でも検討する。また、市長にも伝える。</p> <p>Q： 防災行政無線の内容が、伝わらないが対応策は。音声以外の方法に変えるべきではないか。</p> <p>Q： スピーカーでの伝達には限度があるのではないか。</p> <p>A： 防災行政無線の改善は、議会でも繰り返し取り上げてきた。自助・共助・公助と市民の皆様にも協力できることはしてほしい。伝達は、ホームページ・防災情報メール・ファックスなどもあり、利用してほしい。再度、市に伝えていきたい。</p> <p>Q： 市民の声に耳を傾ける意見交換の場をもっと行うべきではないか。</p> <p>A： 今の意見を大いに生かしていきたい。</p> <p>Q： 核兵器禁止条約に関する意見書が可決したことを喜んでいる。今後も政府の動きを見て、必要な意見書をあげてほしい。 また、他市に比べて基金が多い。議会はどう見ているのか。</p> <p>A： 基金は、いざという時の対応と高齢化の福祉に対応するためである。</p> <p>A： 合併特例で地方交付税が多めに出ていたが、合併後10年で減り始め、15年で他市と同じになる。市は、その対応のためにも基金を増やしているとしている。</p>	

Q： 木津川台にある、こども園への補助金は適正か。
城山台地域の東中央線へつながる道が整備されていない。JR木津駅をまたぐ東西道路が必要では。

A： 補助金が適正だったか確認して報告する。

A： JR木津駅の東西アクセス道路となる内垣外内田山線の道路整備は、土地の買収が難航したため進んでいない。

Q： 踏切を2つ渡らなければならないため、JR木津駅東側へのアクセス道路をなんとか早くしてほしい。

期日前投票は、費用も人手もいる。時間を短くできないか。

A： 投票時間の短縮は、公職選挙法で決まっており、難しいのではないかな。

A： アクセス道路は、土地の買収が終われば整備は始まる。

Q： 最近、近所に防犯カメラが設置された。カメラの設置が必要だったのか。また、設置者は誰か。

A： 小学校ごとの通学路に3カ所、地域長や自治会長などの意見も聞き設置した。

A： 設置者は、木津川市。

Q： 手の届く低いところにもある。おかしいのではないかな。

(この方の指摘は、土師山公園内の実証実験の防犯カメラ)

Q： 排水ポンプ車は、昨年も購入した。継ぎ足し継ぎ足しみたいになっている。

A： 根本的に対策するにはもっと大きな排水能力が必要と考えている。国土交通省へも要望している。

第2部 家庭系ごみの指定袋制について

○ ごみ有料化にしないと1日のごみは4tも増えると市長はいうが、金額で答えないと市民には分からない。

○ ごみの有料化よりも減量化の議論をしてほしい。地球環境の問題としてとらえてほしい。

○ ごみ有料化は反対である。ごみ袋の単価は、1㊦1円は高すぎる。生ごみの水切りを行うことにより、ごみの減量ができる。もっと議論すべきではないか。

○ 地区で市から説明を受けたが、有料化は決定事項であるというような説明だった。これから一定の猶予期間を設け減量に取り組み、その結果、減量化が進まなければ有料もあり得るが、今の段階で有料にするのは反対である。年金生活者も多く、市民の収入が減っている時に負担を増やすのはやめてほしい。

	<p>○ 市は30%で年間2,580円の負担と言うが、もっと多い負担となる家もあると思われる。また、7%の袋でも大き過ぎる家もあるのではないか。公道にある街路樹の葉が自宅の庭に入ってくるが、これを市民が負担しなければならないのはおかしい。また、古紙回収事業補助金が多く、使い切れないと聞く。</p> <p>○ 議案は継続審議だが、すでに各議員の賛否の態度は決まっており、この場で意見を言っても意味がないのでは。11月2日に区で説明会を行ったが、すでに結果は決まったものとして担当者は説明している。我々の質問に市長の回答は「議会で審議している」というだけだった。</p> <p>○ ダイオキシン対策をきちんとすべき。南加茂台の焼却場の跡地利用など論外である。税金を払った上に、高いごみ袋代を払わなければならない。加茂町時代の有料化の問題点が一切出ないのはどうか。古紙回収補助金の使い道を把握すべき。</p> <p>○ 本市は、14回の説明会を開催したが、生駒市では、130回5千人が参加したと聞く。平成28年度から市が出すごみを事業系ごみに変更し、家庭系のごみ量が減った。ごみ袋の有料化前にごみ量を減らす操作をしたように見える。 また、手数料収入約1,800万円の使い道は、生ごみの堆肥化や古紙回収の促進に使うと聞くが、生ごみの減量や古紙回収の促進は、有料化の前に行うべきでは。減量化への意見を市民からもっと聞くべき。</p> <p>○ 東京都の三多摩では「ごみ戦争」と言われ、有料化でごみを減量した。最初は減ったが、その後は減り方が鈍化していった。ごみを有価物（資源化）に変える自治体は多くある。もっと他に学ぶべき。</p> <p>○ 新センターができるから有料と思ったが、減量化が目的と知った。市のごみを事業系にすれば、今後、過去のデータと比較できない。市民への説明会を行い、ごみ減量の取り組みをしても減らなければ、市民も納得する。</p>
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	財政の健全化目標や取り組みを定めるよう義務付けた財政責任条例を制定しては。
その他特記事項	

上記のとおり、報告します。

平成29年11月27日

木津川市議会議長 高味 孝之 様

平成29年度第2回議会報告会

第3班 代表者 炭本 範子

㊞